※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	防災地学	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

火山は温泉や景勝地などの恵みを与える。日本はプレートの活動により形成された陸地といえるが、それは常に地震や噴火の危険が身近にあるということである。また、温帯に位置する日本は、地軸の傾きや地球規模の熱循環の作用により、四季の移ろいと恵みがあると同時に、梅雨や台風などの気象災害の危険も身近にある。身の回りの自然災害（地震災害、火山災害、気象災害等）について地学的な学びを深め、発生する災害への対処法を考える力を養って欲しい。

2　学習の到達目標

身の回りの自然災害（地震災害、火山災害、気象災害など）について学び、発生する災害への対処法（防災）を考える力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身の回りの自然災害（地震災害、火山災害、気象災害など）について理解する。また、発生する災害の知識や対処法を習得する。	身の回りの自然災害（地震災害、火山災害、気象災害など）について学んだ知識について考える。また、発生する災害についての対処法を様々な立場から考える。	身の回りの自然災害（地震災害、火山災害、気象災害など）について主体的に学ぶ力を養う。また、発生する災害への対処法を主体的に考え、行動できる力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	地震災害	地震災害 ・地震の基礎知識 ・地震の種類 ・大阪近辺の断層帯 ・地震災害(津波、火災、液状化等) ・実際の地震災害例	a:地震災害について理解する。発生する災害の知識や対処法を習得する。 b:地震災害について学んだ知識について考える。発生する災害についての対処法を様々な立場から考える。 c:地震災害について主体的に学ぶ力を養う。発生する災害への対処法を主体的に考え、行動できる力を養う。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※令和４年度以降入学生用

後期中間まで	火山災害	火山災害 ・噴火の仕組み ・噴火の種類 ・火山の種類・マグマ ・火山災害の種類 ・噴火警報	a:火山災害について理解する。発生する災害の知識や対処法を習得する。 b:火山災害について学んだ知識について考える。発生する災害についての対処法を様々な立場から考える。 c:火山災害について主体的に学ぶ力を養う。発生する災害への対処法を主体的に考え、行動できる力を養う。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
	気象災害	気象災害 ・気象の基礎知識 ・風速と降水量 ・台風による災害 ・土砂災害 ・高潮 ・雪害	a:気象災害について理解する。発生する災害の知識や対処法を習得する。 b: 気象災害について学んだ知識について考える。発生する災害についての対処法を様々な立場から考える。 c:気象災害について主体的に学ぶ力を養う。発生する災害への対処法を主体的に考え、行動できる力を養う。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
後期期末まで	備えと避難	・ハザードマップ ・自然災害に対する備え ・災害用品の備え ・発災時の行動 ・避難行動 ・避難所での生活	a:災害への備えと避難について理解する。また、発生する災害の知識や対処法を習得する。 b: 災害への備えと避難について学んだ知識について考える。また、発生する災害についての対処法を様々な立場から考える。 c: 災害への備えと避難について主体的に学ぶ力を養う。発生する災害への対処法を主体的に考え行動できる力を養う。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度